

2021年1～3月 新聞接触状況レポート Vol.7

J-MONITOR定期面別調査結果より

2021年6月10日
J-MONITOR連絡協議会

J-MONITOR 定期面別調査とは・・・

各紙の購読者モニターパネルに対して、定期的に朝刊・夕刊・別刷り**各面の接触状況**を質問する調査です。

調査日・調査対象面は、プラットフォームを運営するビデオリサーチが独自に設定。参加新聞社に対し、事前に調査日の開示を行わないため、より**客観的なデータ蓄積が期待できるデータ**となっています。

設問方法

◆スクリーニング

- 1.調査対象発行日の朝刊を読んだかどうか（夕刊・別刷りも同様に）
- 2.朝刊を手もとに用意できたかどうか（夕刊・別刷りも同様に）

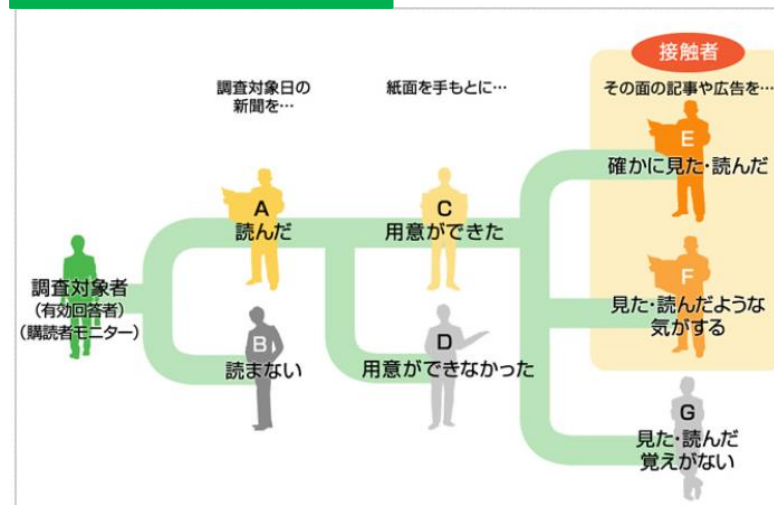
◆本調査（新聞を用意できた人に対して）

Q.「あなたは○面をご覧になりましたか。」（ひとつ回答）

A.

- 1.確かに見た、読んだ
- 2.見た、読んだような気がする
- 3.見た、読んだ覚えがない

面別接触率の設問方法



面別接触率の計算式

$$\text{面別接触率} = \frac{\text{確かに見た・読んだ} + \text{見た・読んだような気がする}}{\text{調査対象者 (有効回答者) (購読者モニター)}} \times 100 (\%)$$

◆面別接触率比較 ①「総合面」 ②「政治面」

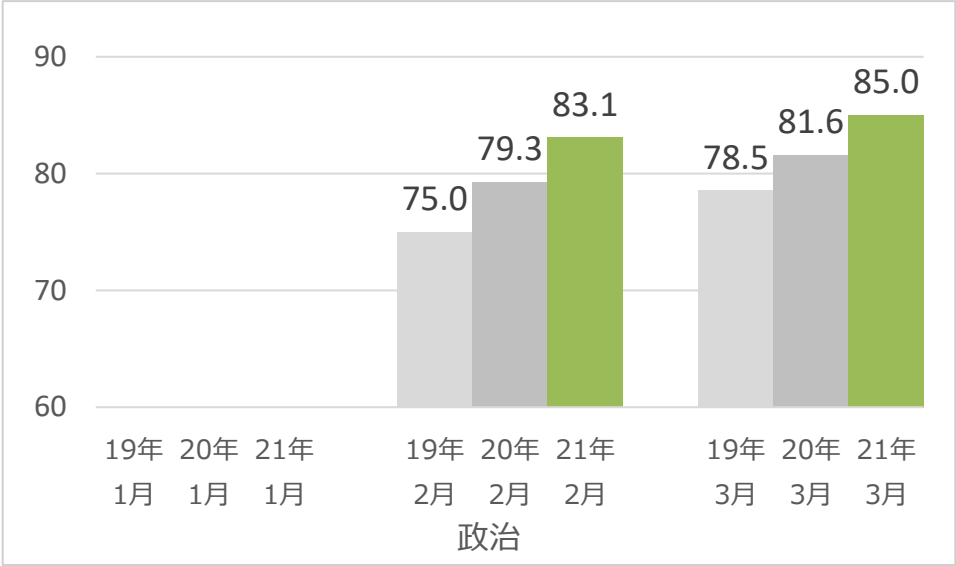
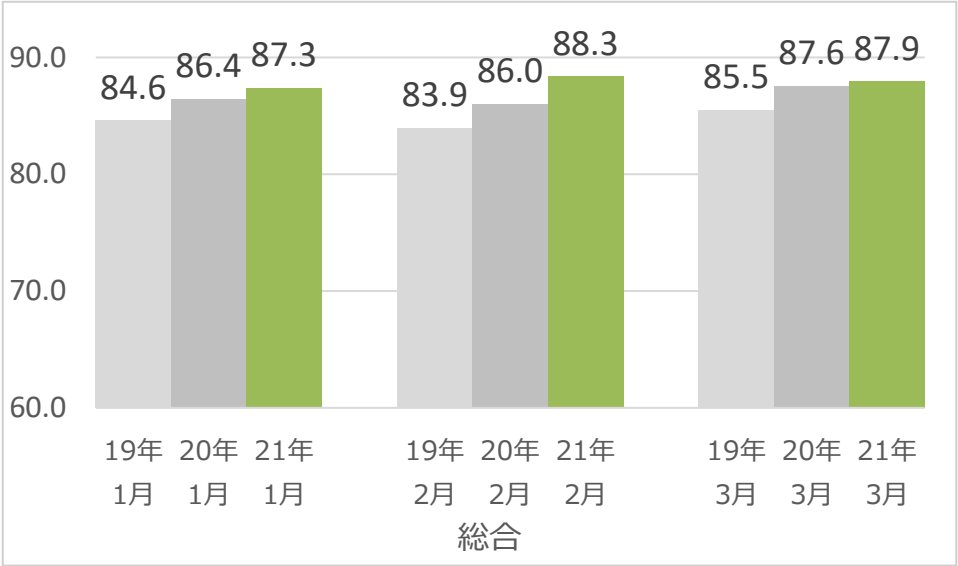
①「総合面」・・・新型コロナウイルスに関する多角的な分析や、政策面などの重要なニュースが多く掲載

新型コロナウイルスの報道が始まって1年経過するが、2021年1月から3月まで連続して昨年・一昨年の同月スコアを上回っている。2度目の緊急事態宣言が発出され、再び日々の生活に対する緊張感が高まり、宣言の効果に注目が集まったことが要因と考えられる。

②「政治面」・・・新型コロナウイルスにおける国の政策・動向が連日掲載

2021年2月、3月は前年の同月スコアより約3～4ポイント上昇している。通常国会が召集され、国会の場で新型コロナウイルスに関する政府の施策に関する議論が集中していることに関心が高まったことがうかがえる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率比較 ③「経済面」 ④「国際面」

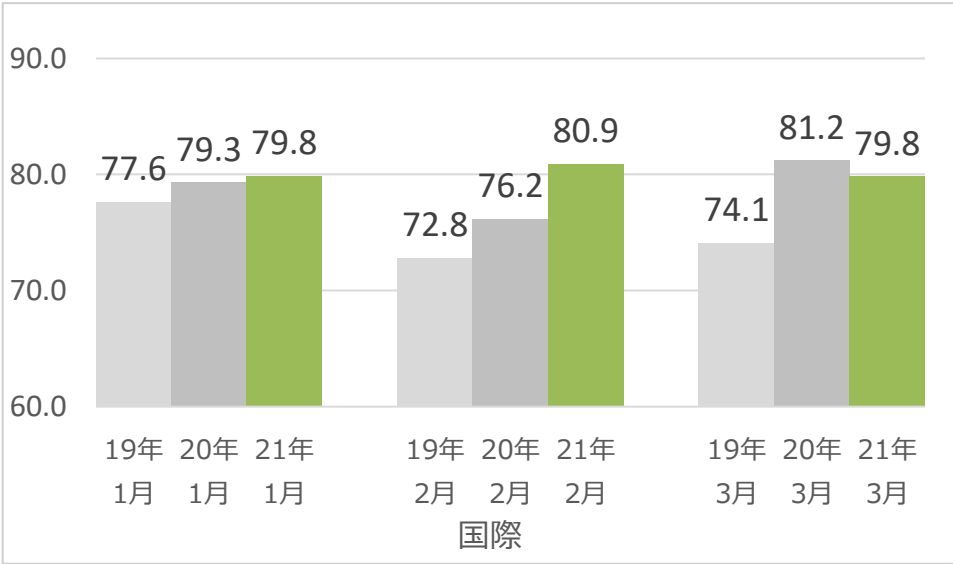
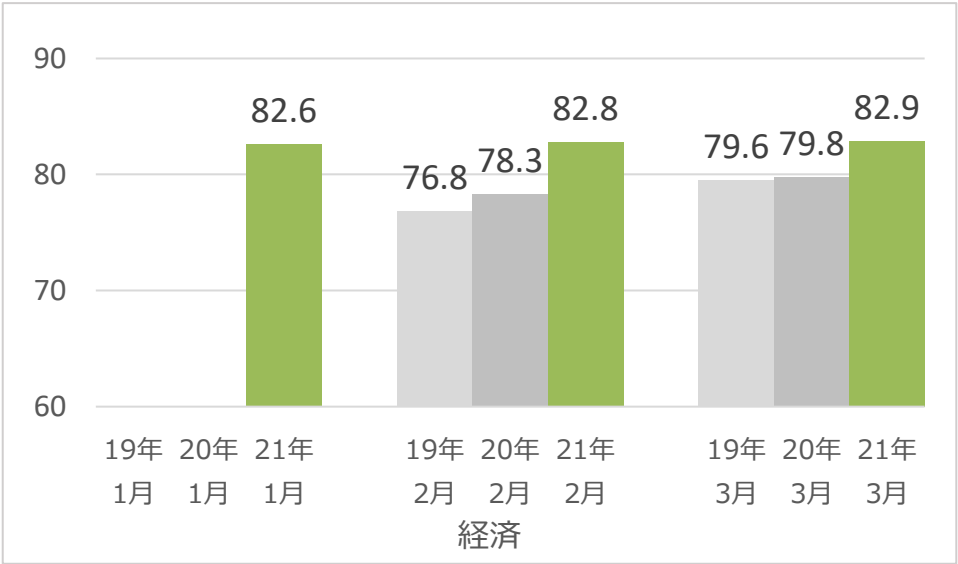
③「経済面」・・・新型コロナウイルスによって日々変化する日本経済の動向について掲載

昨年・一昨年の面別接触率は70%台後半だったが、2021年1月から3月まで、いずれも82%台に伸びている。新型コロナウイルスの第3波の深刻化により、再び経済活動の抑制が行われ、景気回復が見通せない状況にある中で、経済施策への動向に注目が集まった。

④「国際面」・・・新型コロナウイルスに関する世界各地の状況や影響に関する記事が掲載

2021年1月から3月まで、80%前後の高いスコアを維持している。英国やインドで発生した新型コロナウイルスの変異株や、海外で先行しているワクチン接種の情報に強い関心が持たれていることがうかがえる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率比較 ⑤「生活面」 ⑥「ラジオ・テレビ解説面」

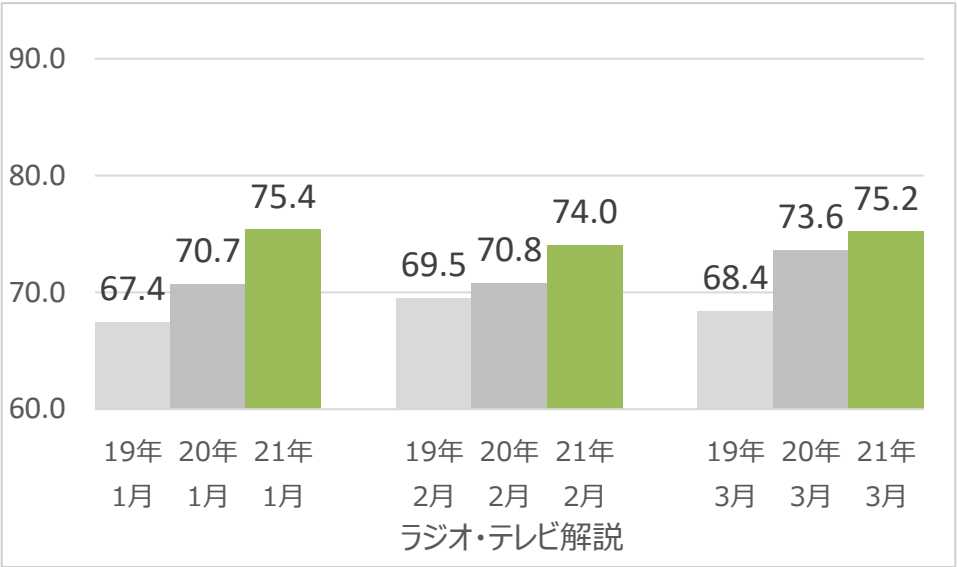
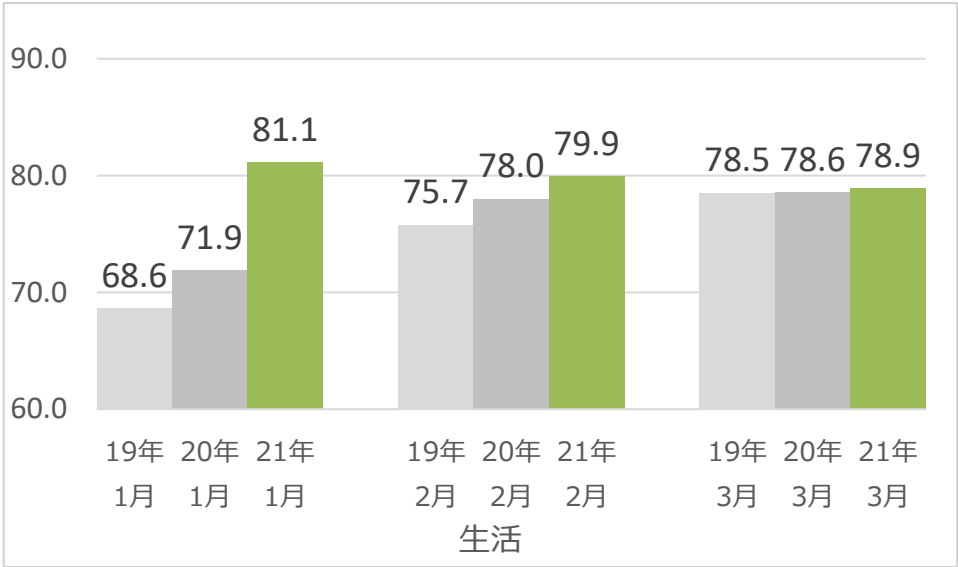
⑤「生活面」・・・新型コロナウイルスの中でも役立つ、衣食住や医療・福祉などに関する情報を掲載

2021年1月から3月まで昨年・一昨年の同月スコアを上回り、80%前後のスコアが続いている。日々の暮らしの中でのコロナ対策、社会保障、生活支援策など役立つ情報を求めて接触率が上昇していることがうかがえる。

⑥「ラジオ・テレビ解説面」・・・テレビやラジオでも様々な情報を入手したい人が番組をチェック

2021年1月から3月まで連続して、昨年・一昨年の同月スコアを上回っている。新型コロナウイルスの感染再拡大により、外出機会が減り、テレビやラジオの接触時間が増え、番組情報を求めて「ラジオ・テレビ解説面」への接触率が伸びている。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率比較 ⑦「社会面」 ⑧「地域面」

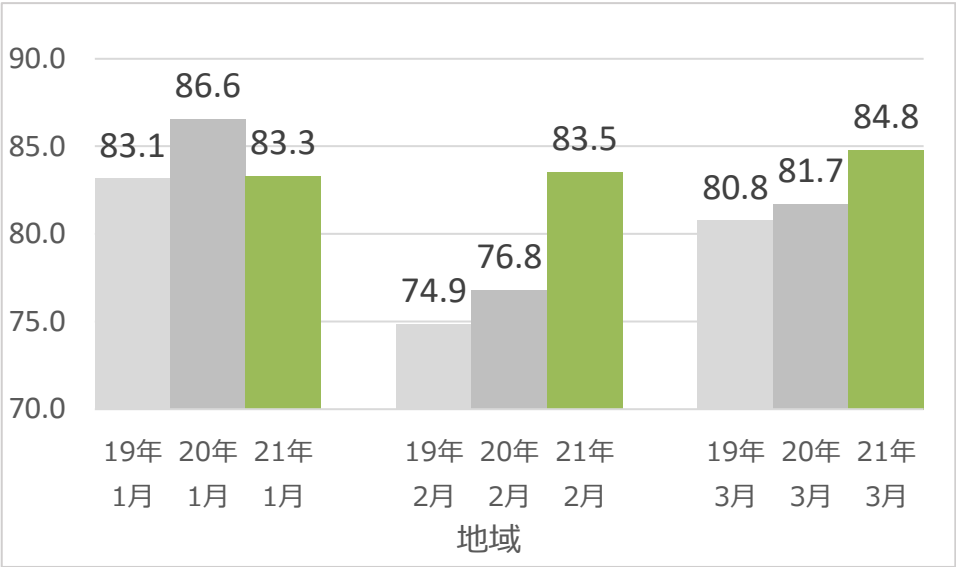
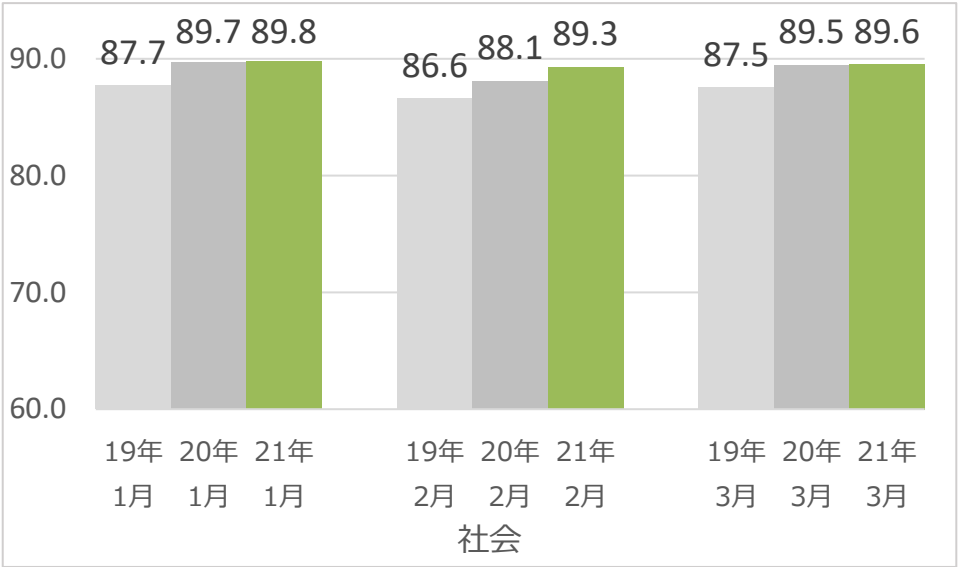
⑦「社会面」・・・新型コロナウイルスの拡散に関する社会的なニュースが連日掲載

2021年1月から3月まで、直近3年間で各月とも右肩上がりでスコアを伸ばし、90%に迫る数値を示している。元々接触率の高い面であるが、新型コロナウイルスの動向、逼迫する医療体制、ワクチン接種の進み具合、など身の回りの生活に直結するニュースが多いことがスコアを伸ばしている要因として考えられる。

⑧「地域面」・・・読者にとって身近な地域での新型コロナウイルスに対する取り組みなどを掲載

2021年1月から3月まで84%前後のスコアが続き、2、3月は昨年・一昨年と比較して最も高い接触率を示している。新型コロナウイルスのニュースが増えた昨年3月と比べても3%ほど上昇しており、より身近な話題となってきたことがうかがえる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

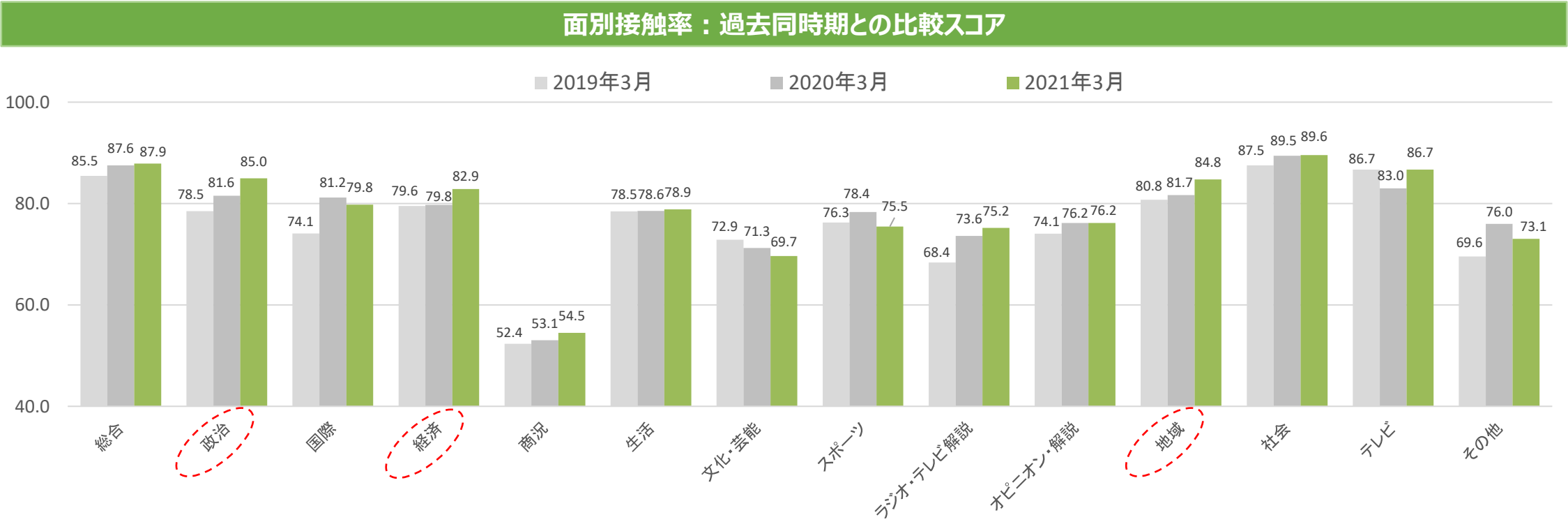
◆面別接触率比較 3月：「全紙平均」

2021年3月 全紙 面別接触率平均

3月の面別接触率は14面種のうち、8面種（総合、政治、経済、商況、生活、ラテ解説、地域、社会）で直近3年の同時期の中で最も高いスコアを示している。

その中でも「政治面」の面別接触率は昨年よりも3.4㊦、「経済面」「地域面」は3.1㊦、スコアが伸びた。

→ 国会での論戦の中心がコロナ対策であったり、経済活動と感染防止の両立が議論となったり、コロナに関する情報がより身近に感じられるようになったことから、上記面への接触が増えたことが考えられる。



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

◆面別接触率まとめ（2021年1月～3月）

面別接触率 一覧 （単位：％）

朝刊・面名称	2021年		
	1月	2月	3月
総合	87.3	88.3	87.9
政治		83.1	85.0
国際	79.8	80.9	79.8
経済	82.6	82.8	82.9
商況	56.5	52.9	54.5
生活	81.1	79.9	78.9
文化・芸能	72.7	69.0	69.7
スポーツ	80.0	78.5	75.5
ラジオ・テレビ解説	75.4	74.0	75.2
オピニオン・解説	76.2	75.1	76.2
地域	83.3	83.5	84.8
社会	89.8	89.3	89.6
テレビ	87.6	86.6	86.7
その他	76.7	76.2	73.1

◆考察（左表）

- ①3月は全14面種のうち、総合、政治、経済、地域、社会、テレビの6面種が8割超え。
 - ②総合面、社会面、テレビ面が80%台後半の高い水準を維持しているのに続いて、政治面、経済面、地域面も1月から3月にかけて80%台前半から徐々にスコアを伸ばしている。
 - ③2度目の緊急事態宣言を受け、中止・延期になったスポーツ・芸能イベントも多く、スポーツ面、芸能・文化面の接触率は下がる傾向が見られた。
- 2度目の緊急事態宣言の発出、変異株による感染拡大、ワクチンの医療従事者向けの先行接種の始まりなど新型コロナウイルスを取り巻く問題を巡って、引き続き緊張感が高まる状況の中で、読者の関心が高まっていることが、接触率の動向からもうかがえる。

「定期面別接触率調査」 調査紙と調査実施月について

			2019年			2020年			2021年		
			1月	2月	3月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
全紙 1 3 紙	首都圏	朝日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		産経新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		日本経済新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		毎日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		読売新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		東京新聞（首都圏）		●			●	●		●	
	近畿圏	朝日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		産経新聞（近畿圏）	●					●	●		
		毎日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		読売新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	その他	中日新聞（中京圏）			●	●	●				●
		北海道新聞	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		西日本新聞			●						

本データ使用時の注意点

本データをご使用の場合は、下記「データ出典」を必ず明記いただきますよう、お願いいたします。

データ出典：

J-MONITOR調査 定期面別調査 【調査実施機関】ビデオリサーチ 【調査日】2019年1月～2021年3月

J-MONITOR オフィシャルサイト

<https://www.j-monitor.net/data-plate/>

※6月10日より、オフィシャルサイトに掲出されています。

問い合わせ

J-MONITOR連絡協議会 2021年度 運営管理幹事

毎日新聞社東京営業本部 パートナーリレーションズセンター マーケティンググループ 永山

問い合わせメールアドレス： press@it.videor.co.jp